

肉便器の朝は早い

#04 アケミ

シナリオ..朝倉拓実

サークル名..ケチャップ味のマヨネーズ

肉便器の朝は早い

わたしたち肉便器の仕事は勤め先の会社でのご奉仕。

会社の大半を占める男性社員の体をすっきりさせることです。

そうすることで、より仕事に対して集中ができるということです。

わたしはこの会社の肉便器課に所属しているアケミ。

過酷な分、お給料もいい。丁寧にしてくれる人もいる。

そういった人との性行為はとても気持ちよかったです。

慣れれば、そんなに悪くもない仕事だとわたしは思っています。

そんなわたしの一日がこうして始まるのです。

今日も朝から肉便器課の扉が開きました。

「おはようございます。早速ご利用ですか？」

「はいっ、お口とオマンコ、それともアナルの何処（どこ）をご利用でしょうか」

「はい、お口ですね。わかりました。朝の会議までに、了解いたしました」

「それでは急いでしてしまいますね」

「どうぞ、わたしのお口をご利用ください」

「はむっ、んっ、ちゅうっ、ちゅぱっ、じゅううっ、はむっ、じゅるる。もう、こんなに大きくなってますね」

「じゅるるっ、ちゅぱっ、ちゅううっ、大きくなっていた方が舐めやすくてうれしいです」  
「はむっ、んっ、ちゅうう、ちゅぷっ、じゅうっ、じゅるるっ。はむっ、ちゅぱっ、じゅるるっ」

「ちゅぱっ、どうですか？ 気持ちよいですか？」

「んっ、ちゅうっ、このままだと、会議に遅れてしまいそう……申し訳ございません」

「んっ、んんっ！ では、わたしの頭をつかんで乱暴に犯してください。それで気持ちよくなっていたけるなら」

「わたしの事は気にしなくて大丈夫です。それがわたしのお仕事ですから。どうぞわたしの喉マンコをご使用ください」

「んんっ、んぐうっ、あっ、んっ、じゅぷっ、じゅうっ、んんぐうっ、んんうっ」

「んんうっ、んぐっ、んじゅっ、じゅぷっ、んぐっ、んんっ、んんうっ、んんんっ」

「じゅぷっ、じゅるるっ、じゅう、んぐっ、がっ、あっ、ああっ、げふっ、げほっげほっ！」

「はぁ、はぁ……申し訳ございません。あむっ、じゅううっ、あまりにおちんちんが大きすぎて、むせてしまいました」

「次は気をつけますので、どうぞご遠慮なさらずに、わたしの喉マンコをご使用ください」

「じゅううつ、じゅぶつ、ちゅばつ、じゅううつ、んつ、んんつ、ああつ、じゅぶつ、じゅううつ、んんつ、じゅるるつ」

「はあつ、我慢汁（がまんじる）が出てきました。もうすぐ射精（しやせい）してしまいそうですね」

「じゅぶつ、んぐつ、じゅるるつ、じゅぶつ、じゅううつ。では、このままわたしの喉奥に熱いザーメンを全て吐き出してくださいっ」

「んっ、んんっ、んんうつ、じゅぶつ、じゅるるるつ、んっ、んぐつ、んぐうつ、じゅるるるつ、んごつ、んんっ」

「じゅっぶつ、じゅるるるつ、じゅううつ、んじゅうつ、じゅぶつ、じゅばつ、じゅううつ、じゅるるる。んっ、んぐぐつ、出そうですか？」

「ふあいつ、出してくらはいつ、わたしに、ザーメンをつ、じゅるるつ、じゅるるるつ、じゅううつ、じゅるるるつ」

「じゅぶつ、じゅぶつ、じゅつ、じゅるるるつ、じゅうううつ、じゅばつ、じゅるるるつ、じゅうううつ」

「わたしの自慢のバキュームフェラで、吸い出してしまいます」

「じゅるるるるつ、じゅぶううつ、じゅばつ、じゅうつぱつ、じゅるるつ、じゅうううつ、じゅるるるっ！」

「じゅうううつ、じゅるるるるつ、じゅうううつ、じゅぶうつ、じゅばつ、じゅるるるつ、ちゅびつ、じゅばつ、じゅうううつ！」

「んっ、ふあいつ！ らひてくらはいつ。んじゅううつ、んっ、んぐううつ、んんうつ、んっ、んんつ、んんうつ、んっ、んんう！」／＼ここで射精です

「んぐつ、んんうつ、んぐつ、じゅううつ、じゅるるるつ、んぐつ、んくつ、じゅばつ、ちゅうつ、んくつ、んんつ、じゅばつ」

「はあつ、はあ……。ごちそうさまでした。このままお掃除フェラの方続けさせていただきますね」

「あむっ、ちゅばつ、ちゅうつ、ちゅるるるつ、じゅううつ、ちゅばつ、じゅうつ、じゅるるるつ、ちゅぶつ、ちゅううつ、じゅるるるるつ。ちゅばつ」

「急いで中に残っている精液も吸い出してしまいますね」

「あむっ、じゅううつ、じゅぶ、ちゅうつ、ちゅばつ、じゅるるるるつ」

「んっ、んくつ、んぐつ、んっ、じゅうつ、ごくっ」

「んっ、んくつ、んんつ、んちゅつ、ちゅうつ、ちゅばつ、お掃除、できました……」

「はい、ご利用いただきありがとうございました」

「会議がんばってください。またご利用していただけたらわたしもうれしいです。ありがとうございます」

（続きは製品版をご購入下さい）